

北海道スタンダード研究会

～北海道を元気にする会～

- 活動紹介 -

1. 活動目的

当研究会は、北海道に住む我々“北海道人”が、“北海道らしさ”や、北海道人の考え方や気質など北海道そのものを探求し、その上で“北海道のあるべき姿”、“北海道の自立”、“北海道の役割など、幅広い分野で議論を交わしながら、“北海道が元気になる”様々な提案を、道外に、そして未来に向けて発信していくことを目指しています。

同時に、この活動を通じて北海道の明日を担う人材を育成していきたいと考えています。(現会員数 58 名)

2. 活動紹介

<第1回勉強会>

日時:平成 23 年 6 月 27 日(月)18:00～

場所:KKRホテル札幌

参加者数:52 名(意見交換会を含む)

講演:「北海道の逆襲」- 北の大地から立ち上がれ!」

講師:鷺田研究所 井上 美香 様



<ご講演の概要>

「北海道の逆襲(彩流社)」の著者である井上美香様を講師にお招きし、ご講演をいただきました。

1)日本が“発見”した北海道とは

・後手後手だった蝦夷の発見

2)幕末から続く依存体質

3)北海道のイメージに一言

・イメージに縛られているのは北海道人だ

4)北海道の希望の星・三人衆は皆オタクだった

夕張希望の杜:村上智彦医師、植松電機:

植松努氏、旭山動物園:坂東元園長

5)北海道の自然をビジネスチャンスに

6)北海道は物語の宝庫だ etc.

など、北海道の歴史的な特徴や、北海道人の特徴的な気質や考え方、北海道を元気にするために頑張っている方々とその功績などを多数ご紹介いただきました。

<第2回勉強会>

日時:平成 24 年 1 月 27 日(金)18:00～

場所:TKP ガーデンシティー札幌きょうさいサロン

参加者数:35 名(意見交換会を含む)

講演1:「新たな福祉と地域の関係づくり

- 地域の課題を『宝』に変えて -」

講師:(社)北海道総合研究調査会

専務理事 五十嵐 智嘉子 様



1)「共生型ケア」から「共生事業」へ

1993 年、富山赤十字病院を退職した 3 人の看護師が開所した「このゆびとーまれ」は、高齢者、障がい者、乳幼児と一緒にケアする民営デイケアサービス施設であり、全国先駆けの共生事業。

2)「北海道共生プロジェクト」の取組み

北海道の共生事業は平成 19 年秋にスタート、2012 年現在、全道 115 カ所地域の実情に応じた多様な展開を実施。北海道では、ニーズ志向の事業展開「入口」から「出口」までの一貫したケア、地域に「あるもの・こと」すべてが資源、しっかりした事業運営の組織体

づくり等を共通理念として取り組んでいる。

3) 当別町での取組事例

学生ボランティアからのスタートし、3年間の経験を通して学生たちは「自分たちは、町内の方たちに受け入れられている」と実感し、就職せずに町内で起業を決心し、現在NPOを設立し2つの共生型事業を運営。



共生型地域福祉ターミナル
(当別町)

- 2002年:利用者年間 46名(信頼感がなかった)
- 2003年:年間利用者 122名(口コミで広がる、信頼感の確立)
- 2004年:年間利用者 512名(自信と確信)
- 2005年: NPO 法人設立
- 2009年:年間利用者 5,000名(支援費制度; 児童デイ、児童居宅)

4) 北海道型共生事業の創出を目指して

「地域の課題やニーズに真正面から向き合うことが大切。そして win-win の関係になるような仕掛けづくりがとても重要。」との貴重なアドバイスをいただきました。

講演2:「観光とまちづくり

- 今、後志でおきていること

講師: 久須美英男プランニング事務所
代表取締役 久須美 英男 様



2007年、後志地域が持つ「奥行き」と「発見の可能性」を発信する活字メディアとして「BYWAY 後志」を発刊。当初、上下巻で終わる予定が地域の方や関係者の熱意で今日まで継続している(現在十巻)



発刊後、地域ネットワークが形成され、ともすれば埋もれてしまう地域の物語、文化、観光資源、人々にスポットライトが当たった事例などをご紹介します。



クラシック音楽ホール 金子さん 蘭越町



和菓子工房 渡辺さん 倶知安町



地域を演じる演劇集団 岩内町



リンゴ「緑の衣」守り部 吉田さん 余市町



北山農場 北山さん 蘭越町



美国「ヤマシメ邸」 積丹町

BYWAY 後志で取り上げられた記事(一部抜粋)

会員アンケートの結果報告

会員を対象にアンケートを実施(全333回答)。これらの回答は、今後当会でワークショップを開催し、改めて分析する予定。

設問1 “北海道らしさ”について(146回答)

- ・四季の情景は美しく遅く変化に富んでいる。
 - ・北海道人は自ら切り開くという自立・開拓者精神に欠ける。
 - ・歴史認識が意外と低い 等
- 北海道の自然、気質など多岐にわたる分野について多様な回答を得た。

設問2 北海道観・北海道人の気質について(106回答)

- ・物事に対するスピード感がない
 - ・過去の風習・伝統に拘泥せず、北海道初の新しい文化を創り出せるというメリットを有する 等
- 慣習・伝統に関する回答が多かった。

設問3 北海道の課題について(37回答)

- ・多様な再生可能エネルギーの技術開発に取り組んでいない。
 - ・付加価値の高い商品の生産に取り組むべき 等
- 経済・産業・技術に関する回答が多かった。

設問4 北海道の課題解決策について(44回答)

設問3同様、経済・産業・技術に関する回答が多かった。

今後の活動について

5月25日に熊谷勝弘氏(元北海道開発局長)を講師に招き、第3回勉強会を予定。今後とも継続して“北海道を元氣する”勉強会を開催していく予定です。